

カンザイシロアリ発生事例のその後

アベックス産業株式会社

元木 貢

1. はじめに

日本しろあり対策協会発行の agreeable27 巻で「カンザイシロアリ発生事例」を報告した¹⁾。当社の取引先で横浜市にある病院の3階病室において、アメリカカンザイシロアリの被害が発生したものである。その後、同病院において他の階からも発生があった。また、同じ地域を春成ら²⁾、富岡ら³⁾がアメリカカンザイシロアリの拡大について都市有害生物管理学会で報告された。それらを取りまとめて、本地域におけるアメリカカンザイシロアリの拡大について報告する。

2. 病院における発生事例

1) 初回の発生

2012年10月16日、築40年を越える鉄筋コンクリート5階建てで、3階にある病室(写真1)の木部窓台部分(写真2)で被害が発見された。病院から木部に虫による被害が出たとのことで調査したところ、噴出孔から特有の糞が排出され、被害部分でシロアリの職蟻と兵蟻が確認され、アメリカカンザイシロアリと同定された。被害は窓台全体に広がっていたが、室内及び病院内の他の木部部分には被害は見られなかった。病院と同じブロックと、通りを隔てたブロックを調査したところ、各所に糞が見られ、外壁や扉に被害が散見された。数軒隔てた空き家には敷居部分に糞が多数見られ(写真3)、地域一帯に繁殖している様子がうかがわれた。

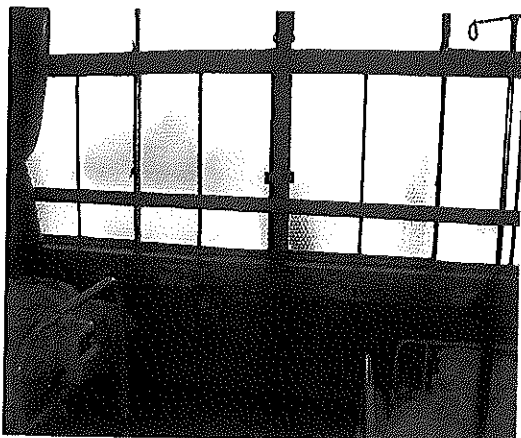


写真1 病室内(○部分は被害があった窓台)



写真2 被害のあった窓台

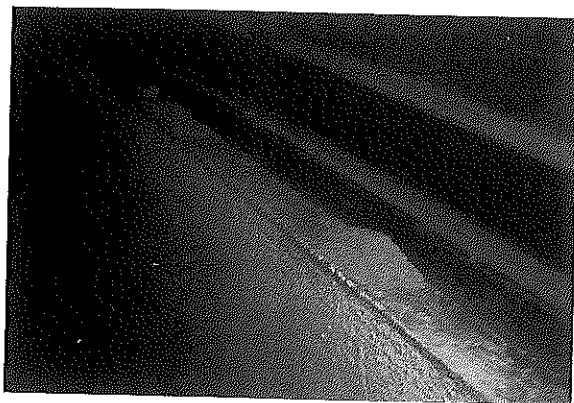


写真3 空き家の敷居に排出された糞

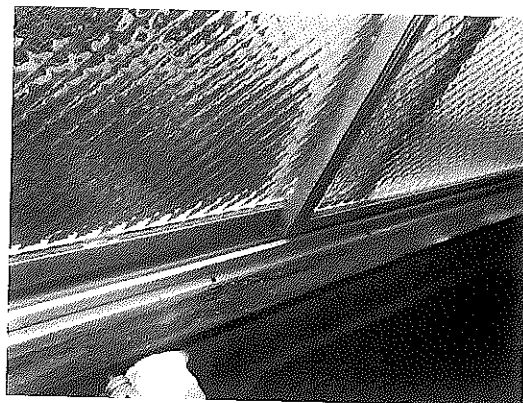


写真4 25年4月の被害

2) 2回目の発生

2013年4月4日、1階診察室の窓台木部に糞及び噴出孔を確認（写真4）、被害部分周辺を穿孔し薬剤処理した。

3) 3回目の発生

2014年4月15日、5階更衣室の窓枠に被害確認（写真5）、被害部分周辺を穿孔、薬剤処理した。また、1階外周ゴミ置場の木部に被害が発見された。



写真5 26年4月、5階更衣室の被害

3. 本地域における拡大状況

春成ら²⁾は、本地域の2階建て木造住宅において2003年7月に天井裏の構造材に被害を確認、この被害家屋を中心に半径300mの範囲を踏査した結果、43戸の家屋外周部から糞塊が確認され、周辺地域に比較的高密度で生息していることを報告した。富岡ら³⁾は、同地域において2008年の調査では99件が認められ、さらに2012年12月には264件に拡大、9年間で約6倍に増加していることを確認した。分布の範囲はあまり拡大していなかったが、被害が近隣の家屋に広がり、密度が高くなっていったとのことである。また調査地域内の道路沿いに生育しているサクラの樹幹、墓地に生えたイチヨウの樹幹の根元からも本種の糞が発見され、野外の生木にも加害されていたとしている。

4. まとめ

アメリカカンザイシロアリが2013年4月に鉄筋コンクリートの病院の3階病室の窓枠の隙間から侵入し、わずかな本部である窓台の内部で繁殖していた。続いて2013年4月に1階で、2014年4月には5階更衣室の窓枠、1階ゴミ置き場でも発見された。このことは、有翅虫が本地域において高密度に発生し、わずかな隙間からでも侵入し繁殖することを示している。同地域において9年間で約6倍に被害家屋が拡大していることから、アメリカカンザイシロアリの今後の被害の拡大、定着が懸念される。

参考文献

- 1) 元木貢 (2013) : カンザイシロアリ発生事例, 日本しろあり対策協会 agreeable, 27: 20-21.
- 2) 春成正和, 富岡康浩 (2004) : 横浜市におけるアメリカカンザイシロアリの発生状況および防除, 家屋害虫, 26 (2) : 107-113.
- 3) 富岡康浩, S.Khoirul Himmi, 谷川力, 吉村剛 (2014) : 横浜市におけるアメリカカンザイシロアリの9年間の分布の変遷および樹木への加害, 都市有害生物管理学会大会要旨集, 28.